

令和3年度重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト1000)里地調査

生物多様性センター

愛媛県生物多様性センターでは、環境省が全国規模で基礎的環境情報の収集と長期生態系観測を行う重要生態系監視地域モニタリング推進事業(モニタリングサイト

1000)里地調査において、四国地区重要監視地点(コアサイト)となっている東温市上林地区における水質調査を、平成20年度から実施している。

令和3年度も引き続き、拝志川流域の5地点(河川4、ため池1)で4月27日、6月24日、8月24日、10月22日、12月24日、2月21日の計6回調査を実施した。結果は以下のとおりである。

令和3年度モニタリングサイト1000里地調査(水質調査)結果*

| 調査項目 | 4月 | 6月 | 8月 | 10月 | 12月 | 2月 |
|--------|-------|-------|------|------|-------|-------|
| 水温(℃) | 12.0 | 17.3 | 18.6 | 12.9 | 8.0 | 3.5 |
| | 17.8 | 25.2 | 23.8 | 16.5 | 7.0 | 2.2 |
| 水位(cm) | 15.2 | 21.8 | 27.4 | 21.8 | 25.3 | 21.5 |
| | 760 | 760 | 760 | 610 | 610 | 580 |
| 水色 | — | — | — | — | — | — |
| | 16 | 16 | 20 | 20 | 21 | 21 |
| 透明度 | 100.0 | 100.0 | 97.5 | 98.8 | 100.0 | 100.0 |
| | 100.0 | 75.0 | 90.0 | 95.0 | 100.0 | 100.0 |
| pH | 7.1 | 7.3 | 7.1 | 7.2 | 6.9 | 7.0 |
| | 6.8 | 7.4 | 6.8 | 6.8 | 7.0 | 6.8 |

※上段は河川4地点の平均値、下段はため池1地点の値

調査方法は、「モニタリングサイト1000里地調査マニュアル」(環境省・(財)日本自然保護協会)による。

令和3年度特定希少野生動植物保護区巡回調査

生物多様性センター

愛媛県野生動植物の多様性の保全に関する条例により、特に保護を図る必要がある23種が「特定希少野生動植物」として指定されている。中でも、生息地が限られ保護の必要な6区域が「特定希少野生動植物保護区」として指定されており、定期的な巡回を行うとともに生息・生育状況の調査及び保護区の管理を行った。

1 片上地区アキサンショウウオ保護区

4月23日、6月17日、7月13日に幼生は確認できなかった。7月13日時点で、降雨による土砂の堆積が進んだが、1月までに土砂の除去が行われた。3月11日には卵囊が2個確認できた。

2 宅間地区アキサンショウウオ保護区

4月23日、卵囊はふ化しており、幼生を確認。6月17日に幼生は確認できなかったが、例年この時期までに保護区の水場から山林へ移動している。7月以降、降雨によ

る土砂の堆積が見られたが、10月までに土砂の除去が行われた。保護区に通じる山林側の水路で、2月15日に卵囊が2個、3月11日に卵囊が5個確認できた。

3 台地区ナゴヤダルマガエル保護区

6、9月に保護区の状況を確認したが、保護区の開発等はない。なお、ナゴヤダルマガエルの生息は確認できていない。

4 庄内地区ハッチョウトンボ保護区

年間を通じて、湿地状態が維持された。(梅雨明け後、7~8月の降水がない時期は保全団体が灌水を実施)5月中旬から羽化が始まり、約800頭が確認された。

5 織田ヶ浜地区ハマビシ保護区

6月17日に発芽が確認され、約3cmの株幅であった。7月13日には株が広範囲に生育しており、開花も見られた。7月19日から8月8日の間、降雨はなかったが、生育は良好で果実も見られた。8月24日、9月14日には多くの果実が見られたが、10月14日には葉の黄化や落葉が見られ、12月14日には地上部は見られなかった。

6 織田ヶ浜地区ウンラン保護区

4月16日に多数の株が確認された。6月17日にはハ

マゴウ、テリハノイバラの生育が旺盛となり、その下でウンランが生育しており、7月13日生育は良好で多数の開花が確認できたが、7月19日から8月8日の間、降雨がなく、地上部が黄化した株が多く見られたが、ハマゴウの陰の株は干ばつの影響が少なかった。9月14日には再び開花が見られ、10月22日には再出芽した株も見られた。11月24日にはハマゴウが落葉した下に黄化したウンランが確認できた。1月26日にはほとんどの茎葉は枯死した。

7 保護区以外の状況

(1) ナミキソウ自生地

4月2日から出芽した株が確認され、6月17日に開花が見られた。高温少雨の時期に葉の黄化が見られた。12月14日には、ほとんどの株の地上部が枯死した。

(2) デンジソウ自生地

4月23日、東予地域の4か所で確認。3か所が水田不耕作地、1か所が水田栽培後のほ場。雑草の下、水田の畔に自生している。12月14日には、気温の低下により葉が茶褐色となり、確認できる株数も少なくなった。

令和3年度ニホンカワウソ無人カメラ調査

生物多様性センター

国の特別天然記念物であり、本県の県獣に指定されているニホンカワウソは1975年に宇和島市九島で捕獲された個体以降、確実な生存情報はなく、愛媛県レッドデータ

ブック(2014年改訂)では絶滅危惧1類と評価されている。なお、環境省はニホンカワウソを絶滅種として判断しているが、2012年以降、センサーカメラを設置し、撮影データの確認を継続している。令和3年度、ニホンカワウソもしくはニホンカワウソの可能性のある哺乳類は撮影されなかった。

令和3年度 ニホンカワウソ無人カメラ撮影状況

令和3年4月1日～令和3年6月28日

| カメラ ナンバー | 場 所 | 確認された哺乳類 種数 | 確認された鳥類 種数 |
|-------------|------------------|----------------|---------------|
| 1 | 南宇和郡愛南町(山中の溪流) | — | 0 |
| 2 | 南宇和郡愛南町(半島先の河口部) | イノシシ | 1 |

令和3年10月26日～令和4年3月31日

| カメラ ナンバー | 場 所 | 確認された哺乳類 種数 | 確認された鳥類 種数 |
|-------------|------------------|---------------------------|---------------|
| 1 | 宇和島市(半島の道路近くの水路) | ハクビシン、イタチ、 タヌキ、ネズミ | キジ |
| 2 | 宇和島市(半島の廃集落の水路) | イノシシ、ハクビシン、 イタチ、タヌキ、ネコ | 不明 |